

主要産地における平成29年産水稻の生育状況等について 第4報 (6月15日現在)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (平成29年6月16日)

道府県	生育状況等	
	区分	育苗・田植進捗状況・生育状況等 (自治体等公表資料の抜粋) 同左及び周辺事情に対する自治体等公表資料等 (抜粋)
北海道		<p>平年に対する遅速等</p> <p>(全道) 移植作業は平年並に終了した。移植後の生育は、苗の活着も良く平年並に推移している (早2日)。(北海道農政課 6月1日現在)</p> <p>(空知) 生育も平年並であり、移植作業はやや早く終了した。(空知総合振興局 6月1日現在)</p> <p>(石狩) 生育は順調である (早3日)。(石狩総合振興局 6月1日現在)</p> <p>(後志) 活着の良否は平年並、乾物重も平年並 (早3日)。(後志総合振興局 6月1日現在)</p> <p>(根釧) 生育は平年並。移植作業は平年並 (根釧総合振興局 6月1日現在)</p> <p>(日高) 移植作業は平年並に終了した。生育は平年並。(日高総合振興局 6月1日現在)</p> <p>(渡島) 移植作業は平年並に終了 (早2日)。(渡島総合振興局 6月1日現在)</p> <p>(釧路) 生育及び移植作業は概ね平年並 (早2日)。(釧路総合振興局 6月1日現在)</p> <p>(上川) 移植作業は平年並からやや早く終了し、生育も平年並となっている。(上川総合振興局 6月1日現在)</p> <p>(留萌) 生育は平年よりやや早く進んでいる (早4日)。(留萌振興局 6月1日現在)</p> <p>(オホーツク) 生育はやや進んでいる (早3日)。(オホーツク総合振興局 6月1日現在)</p>
	(田植・生育)	<p>・6月のヒメトビウカの発生量は平年並、イネドロオムシとフタオビコヤガの発生期はやや早く、発生量は少の予報 (北海道病害虫防除所 5月31日公表)</p>
青森		<p>(田植・生育) ・6月5日現在の田植進捗は、県全体で100%となった。県全体の田植終わりは平年並の5月28日となった。(青森県 6月6日)</p> <p><6月10日現在の生育状況></p> <p>・黒石の「つや姫」は、草丈が29.5cmで概ね平年並だが、株当たり葉数は5.4本で平年より2.1本少なく、葉齢は5.5葉で平年より0.4葉少なかった。また、「青天の霹靂」は草丈が32.9cmで前年より1.8cm短く、葉数は6.1本で前年より2.1本少なく、葉齢は5.4葉で前年より0.2葉少なかった。</p> <p>・土和町の「まっしろ」は、草丈は41.0cmで平年より3.3cm長かったが、株当たり葉数は6.1本で平年より2.5本少なく、葉齢は5.8葉で平年より0.3葉少なかった。(青森県産米技術センター農林総合研究所 6月12日)</p>
	(田植・生育)	<p>・6月のイネミズゾウムシの発生量は平年並、イネドロオムシはやや少ないと予想される。(青森県病害虫防除所 5月31日公表)</p>
岩手		<p>(生育) ・6月5日現在、草丈は、農業研究センター(北上)、東北農業研究所(軽米)とも、平年を上回っている。葉数は、農業研究センター(北上)では、平年並又は平年を上回っており、東北農業研究所(軽米)では、平年を下回っている。葉齢は、農業研究センター(北上)では、平年をやや上回っており(「銀河のしずく」を除く)、東北農業研究所(軽米)は平年をやや下回っている。(岩手県農業研究センター 6月7日付)</p> <p>・5月19日現在、田植え時期の気温・日照時間とも平年を上回り、活着は概ね良好。</p> <p>・直播栽培(鉄コーティング種子による湛水表面播種栽培)は、播種後出芽までの気温が平年より高く経過しており、県内各地とも出芽は良好。</p> <p>(岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部 5月25日付)</p>
	(生育)	<p>・6月の葉いもち、ばか苗の発生量は平年並の予報。イネミズゾウムシ、イネドロオムシの発生量は少の予報。斑点米カメムシ類(アカスジカスミカメ)のふ化が早まっており、県中南部では既にふ化盛期を迎えている。(岩手県病害虫防除所 5月31日公表)</p>
宮城		<p>(生育) ・6月9日現在の生育は、平年に比べて1~2日程度遅くなっている。草丈は28.7cm(平年比100%)、1㎡当たりの葉数は189本(平年比86%)。葉数は6.5枚(平年差-0.3枚)、葉色はGM値が36.2(平年差-2.7)となっている。(県全体の平均)(宮城県 6月12日付)</p> <p>(仙台) 6月9日現在、ひとめぼれ及びササニシキの生育は、葉数から判断して平年より1~2日程度遅くなっている。葉数は、平年よりやや少なめに付いている。ひとめぼれ(管内平均)の草丈は29.9cm(平年比101%)、葉数は225本/㎡(平年比96%)、増加葉数(前回調査からの増加分)は70本/㎡(平年比68%)、葉数は6.9枚(平年差-0.2枚)、葉色(GM値)は36.7(平年差-2.7)。ササニシキ(管内平均)の草丈は27.4cm(平年比95%)、葉数は177本/㎡(平年比97%)、増加葉数は85本/㎡(平年比88%)、葉数は6.6枚(平年差-0.3枚)、葉色(GM値)は34.7(平年差-3.5)。(宮城県仙台農業改良普及センター 6月14日付)</p> <p>(大崎) 6月9日現在、草丈は、北部平坦・西部丘陵のひとめぼれ、山間高冷のやまのしずくは平年を下回っている。他は平年を上回っている。葉数は、北部平坦のササニシキ及び西部丘陵のまなむすめは、平年を大きく上回っている。他は平年より少ない傾向が見られる。葉数は、やや少ない傾向が見られる。葉色は、やや濃い傾向が見られる。(大崎農業改良普及センター 6月13日付)</p> <p>(美里) 6月9日現在、草丈は前年および平年より長く、葉数は前年および平年より大幅に少ない。葉色は前年および平年よりかなり淡く、葉数は通谷ひとめぼれでは前年および平年より進展が遅い。直播栽培(鉄コーティング湛水直播)の小生田のひとめぼれは、苗立本数は86本/㎡(前年比130%)、草丈は17.6cm(前年比125%)、葉数は本86.2/㎡(前年比86%)、葉数は3.8枚(前年差-0.5枚)。(美里農業改良普及センター 6月12日付)</p> <p>(栗原) 6月9日現在、ひとめぼれの生育調査ほ3区画の生育は概ね順調で、葉数からみると生育はほぼ平年並に進んでいる。草丈は平年並(平年比100%)、葉数はほ場間差が大きく、平年より少ない~多い(平年比75~164%)、葉数はほぼ平年並(平年差-0.1枚)、葉色は平年よりやや濃い(平年比94%)。(栗原農業改良普及センター 6月12日付)</p> <p>(登米) 6月9日現在の生育状況は、平年に比べ草丈は平年並~やや長め、葉数は概ね平年並、葉数は少なめで生育はやや遅れ、葉色はほ場によりバラつきがあるが、やや淡め。6月に入り、日平均気温が平年より低い日が続いたことから、生育は鈍化している。</p> <p>直播栽培の生育状況は、草丈は平年並、葉数と葉数はいずれも平年より多い傾向にある。目標苗立数は、乾直では150本/㎡程度、湛水(鉄コ)では100本/㎡程度。(宮城県米づくり推進・食米地方本部食米農業改良普及センター 6月13日付)</p> <p>(本吉) 6月9日の調査結果では、気仙沼市本吉町の生育調査ほ(ひとめぼれ)では、草丈は平年並、葉数は平年より少なく、葉数は平年より1枚少なく、葉色はやや淡く推移している。前三輪刈り入れの生育調査ほ(ササニシキ)では、草丈は平年をわずかに上回っているが、葉数は平年より少なく、葉数は平年並、葉色はやや淡く推移している。管内の生育については、概ね順調に経過している。</p> <p>気仙沼市本吉町の直播栽培調査ほ(ひとめぼれ)において(鉄コーティング湛水直播・ひとめぼれ)、播種日は平年より4日早い5月11日であった。6月9日調査では、草丈・葉数ともに平年を上回り、葉数は平年葉より1.3枚と生育は順調に進んでいる。(宮城県本吉農業改良普及センター 6月12日付)</p>
	(生育)	<p>・6月下旬までの発生予報は、葉いもちの発生量は平年並、イネドロオムシの発生量は少の予報。(宮城県病害虫防除所 6月8日公表)</p>
秋田		<p>(由利) 田植え作業は管内全域でほぼ終了している。(6月9日付)</p> <p>(平鹿) 移植作業の進捗は平年より1日早い5月30日となり、5月30日現在の移植作業の進捗率は98.7%となっている。(6月2日付)</p> <p>(雄勝) 田植作業は終期となった。(6月2日付)</p> <p>(北秋田) 5月30日現在の田植作業は、98%の進捗となっており、終期は、平年並の5月28日となった。生育は概ね順調。(6月2日付)</p> <p>(秋田) 管内の田植作業は、平年より2日遅い5月29日に終期を迎え、作業は最終盤に入っている。(6月2日付)</p> <p>(仙北) 5月30日現在の田植作業の進捗状況は96.2%(平年94.1%)で終期を迎えた。田植え後の生育は概ね順調。(6月2日付)</p> <p>(鹿角) 耕起の5月10日現在の進捗状況は89.5%で5月4日(平年5月7日)に盛期を迎えた。(5月12日付)</p> <p>(秋田県農林政策課)</p>
	(田植・生育)	<p>・6月の病害虫発生量予報</p> <p>葉いちは平年並、ばか苗ははやや少ない、イネミズゾウムシは平年並、イネヒボソハムシは少ない、イネミギワハエはやや少ない、ニカメイガは少ない、アカスジカスミカメは多い(前年並)、アカヒゲホソドリカスミカメは平年並、フタオビコヤガは少ない (秋田県病害虫防除所 5月26日公表)</p>
山形		<p>(生育) ・6月9日現在の平坦部「はえぬき」は、草丈、葉数は平年並、葉数は平年より少なく、葉色は平年より淡い生育となっている。特に、田植えが遅い圃場では低温等の影響で分けつが発生が遅れている。</p> <p>・直播栽培は、苗立ちの状況は良好。</p> <p>・6月9日現在の「つや姫」の生育は、草丈は平年よりやや長く、葉数は平年より少なく、葉数、葉色は平年並となっている。分けつの発生が遅れている。</p> <p>(オールやまがた米づくり日本一運動本部 6月9日付)</p> <p>(東南村山) 6月9日現在、草丈は平年よりも短く、葉数は平年よりも少なく推移している。葉数展開も平年より遅れており、田植えの時期によって生育に差が見られる。(オールやまがた米づくり日本一推進運動部村山地域本部村山農業技術普及課 6月13日付)</p> <p>6月9日現在のつや姫は、低温等の影響で葉数は少なく推移している。(山形つや姫ブランド化戦略推進本部村山地域本部村山農業技術普及課 6月13日付)</p> <p>(酒田) 6月9日現在、はえぬきの草丈は「長く」、葉数は「やや少なく」、葉数、葉色は「平年並」。ひとめぼれの草丈は「長く」、葉数、葉数は「平年並」、つや姫の草丈は「平年並」、葉数は「少なく」、葉数は「やや少なく」、葉色は「平年並」。土壌養分アンモニウム濃度はいずれも「平年並」。(庄内総合支庁酒田農業技術普及課 6月13日付)</p> <p>(鶴岡田川) 生育調査圃場の6月9日の生育は、草丈は長く、葉数は平年並~少ない、葉数は圃場によりばらつきが見られる。6月初めの低温強風の影響から、分けつの発生が少ない圃場、葉色が淡く葉の傷みが見られる圃場が見受けられる。(庄内総合支庁農業技術普及課 6月12日付)</p> <p>(置賜) 田植え後の苗の活着は概ね良好だったが、低温の影響やワキの発生により葉数の発生が少ない状況。6月9日現在の平坦部「はえぬき」の生育は、草丈は平年並~やや長く、葉数は少なく、葉数は平年並。「つや姫」の生育は、草丈は平年並~やや長く、葉数は少なく、葉数は平年並。(オールやまがた米づくり日本一運動部推進本部農政課 6月9日付)</p> <p>(最上) 管内の移植作業は、始期が5月16日、盛期が20日、終期が28日(見込み)と、平年よりやや早い進捗となっている。好天が続く、活着は良好と考えられる。(最上総合支庁農業技術普及課 5月23日付)</p>
	(生育)	<p>・6月の葉いもちの発生量は平年並、斑点米カメムシ類の発生量はやや多いと予報 (山形県病害虫防除所 5月31日公表)</p>

注：この資料は、地方自治体及び出先機関等が各々のホームページで公表している資料について、一般及び関係者に周知することを目的として、米穀機構情報部が各公表資料の一部を抜粋し取り纏めたものです。各情報の詳細につきましては、末尾に明示している原資料を参照してください。

	平年に対する遅速等	同左及び周辺事情に対する自治体等公表資料等(抜粋)
福島	(育苗・田植) ・移植栽培の播種作業は、盛期が4月17日(平年差+1日)、終期が4月24日(平年差±0)で、平年並に進んだ。湛水直播栽培の播種作業や移植栽培の田植えは、4月下旬から始まっている。 (福島県農林水産部 5月12日付)	・葉いもちの発生量は平年並、イネドコロイムシの発生時期は早く発生量はやや少、イネヒメハモグリバエの発生量はやや少、イネミズゾウムシの発生時期はやや早く発生量はやや少と予報 (福島県病害虫防除所 5月26日公表)
茨城	(水戸市) 6月9日現在、主理葉数の展開からみた生育は、5月1日移植の「あきたこまち」が3日程度遅く、「コシヒカリ」が1日程度遅い。商品種ともに草丈はやや短く、葉数は平年並、葉色は平年並。 5月10日移植の「コシヒカリ」の主理葉数の展開からみた生育は平年並。草丈は平年より短く、葉数は平年並、葉色はやや濃い。 (茨城県農業総合センター農業研究所 6月12日付) (龍ヶ崎市) 6月8日現在、4月27日移植の「あきたこまち」、「コシヒカリ」の主理葉数の展開からみた生育は、それぞれ平年より5日、4日早い。平年に比べ、草丈は「あきたこまち」で極く長く、「コシヒカリ」で長い。商品種とも葉色は平年並。 5月9日移植の「あきたこまち」、「コシヒカリ」の主理葉数の展開からみた生育は、それぞれ平年より5日、3日早い。平年に比べ、商品種の草丈は長く、葉色は「あきたこまち」で平年並、「コシヒカリ」でやや濃い。 (茨城県農業総合センター農業研究所 6月12日付)	・関東でイネ縹葉枯病(ヒメトビウンカ)の発生が「多い」と予報 (農林水産省 6月14日付) ・県西地域、県南の一部地域でイネ縹葉枯病の発生量が多いと予報 (茨城県病害虫防除所 6月12日公表)
栃木	(生育) <早稲栽培コシヒカリの6月8日調査結果(16か所平均)> 草丈は高く(平年比107%)、葉数はやや多く(102%)、葉齢は0.2葉多く、葉色は0.5葉濃い。葉齢から判断して、生育は2日程度進んでいると考えられる。生育診断値(葉色×葉数)は平年比90%と小さい。 (栃木県農政部 6月9日付)	・関東でイネ縹葉枯病(ヒメトビウンカ)の発生が「多い」と予報 (農林水産省 6月14日付) ・5月中旬～下旬に調査した結果、イネ縹葉枯病(ヒメトビウンカ)の発生量は県中地域での発生量が多いと予報 (栃木県農業環境指導センター 5月31日) ・5月下旬～6月下旬の縹葉枯病の発生量はやや多いと予報 (栃木県農業環境指導センター 5月19日公表)
埼玉	(生育) <センター内生育報> ・早期栽培(5月2日種 コシヒカリ)の育苗期間は、平年並から高温で経過したものの、苗の徒長は見られず、充実度の高い苗が得られた。強風等による植え痛みもなく、活着は良好であった。移植後から高温・多照で経過したため、移植の進展は早く推移しており、生育量は多く、順調な生育である。 ・早稲栽培(5月19日種 彩のかがやき)の育苗期間は、平年に比べて高温で経過したものの、苗の徒長は見られず、充実度の高い苗が得られた。強風等による植え痛みもなく、活着は良好であり、その後の生育も順調である。 <県内全般> ・早期・早稲栽培とも田植作業は好天に恵まれ平年同様順調に推移し、活着は良好で初期生育は順調である。 (埼玉県農業技術研究センター 6月2日現在)	・関東でイネ縹葉枯病(ヒメトビウンカ)の発生が「多い」と予報 (農林水産省 6月14日付) ・6月の葉いもちの発生量はやや多、イネミズゾウムシの発生量は平年並、イネドコロイムシとヒメトビウンカの発生量はやや少、縹葉枯病の発生量はやや多の予報 (埼玉県病害虫防除所 5月29日公表)
千葉	(生育) ・6月1日現在の生育状況は、5月下旬の気温が平年と比較して高い傾向が続き、生育の回復が進んだ。特に、コシヒカリではやや葉数が多く、中干しの時期を過ぎているものがあり注意が必要。 4月20日種えの「ふさおとめ」は、平年と比較して3日程度早い6月14日頃から幼穂形成期となる見込み。 (千葉県農林水産部 6月5日付)	・関東でイネ縹葉枯病(ヒメトビウンカ)の発生が「多い」と予報 (農林水産省 6月14日付) ・向こう1か月間の病害虫の発生量は、いもち病(葉いもち)、ばか苗病は平年並、イネドコロイムシは少、ジャンボタニシはやや多、イネクワカメムシは平年並、ヒメトビウンカはやや多、セジロウカはやや少の予報 (千葉県農林総合研究センター 6月14日公表)
新潟	(魚 沼) 6月8日のコシヒカリ生育調査結果(4地点平均値)は、草丈29cm(指標値比97%)、葉数174本/m ² (同比83%)、葉数は3.9葉(指標値差+0.1葉)、葉色(SPAD値)は32.1(同差-4.4)。5月10日から15日植えの早稲は播種後では指標値より生育が早く、葉いもちに対する生育量は適当である。5月下旬田植えは播種後、標高の高い場所などでは生育が遅れ、生育量が少ない。(新潟県農業普及指導センター 6月9日付) (柏崎) 6月8日現在の新之助の生育は、春日ではやや深水での管理により、葉数が少なく、生育も少し遅れているが、刈取では概ね順調に生育している。(柏崎農業普及指導センター 6月9日付) (糸魚川) 6月8日現在、コシヒカリ(田植え日:5月2～23日)の生育状況は、指標値に比べ草丈は並、葉数は多く、葉数は並、葉色は濃い。5月10日頃までの田植えの早稲は、葉数が指標値よりかなり多くなっている。5月中旬から下旬田植えの早稲は、分けつが発生しているが、5月下旬の高温によるワネや6月上旬の低温により葉色が淡い場所もある。(糸魚川地域農林振興部 6月9日付) (新発田) コシヒカリ(6月8日調査)は、6月上旬の低温傾向で、生育の進みが鈍化している。コシヒカリの生育概況は、草丈は30cmで指標比115%(長い)、葉数は214本/m ² で指標比102%(並)、葉数は6.9葉で指標差+0.2葉(並)、葉色は葉緑素計35.7で指標差+0.7(並)。また、現在の生育調査の葉数状況から、5月10日頃コシヒカリの中干し時期は6月19日頃(田植え後34日)となる見込み。連日植えや補い本数の多かったほ場で、すでに必要葉数を確保している場所が見られる。ワネ等により分けつが発生が抑制されている場所が散見される。 (新発田農業普及指導センター 6月8日付)	・北陸でイネいもち病(葉いもち)とイネミズゾウムシの発生が「多い」と予報 (農林水産省 6月14日付) ・6月の病害虫の発生量は、葉いもちは平年並、ニカメイチュウ第1世代は平年並～やや少ない、ツマグロヨコバイは平年並～やや多い(佐渡は多い)、イネドコロイムシはやや多い、イネミズゾウムシは多いと予報 (新潟県病害虫防除所 5月31日公表)
	(生育) (新 潟) 6月8日調査のコシヒカリの生育状況は目標に比べて、草丈は30cmで「並」(目標比96%)、葉数は222本/m ² で「やや少」(目標比91%)、葉数は6.9葉で「やや少」(目標差-0.4葉)、葉色(SPAD値)は36.0で「やや濃い」(目標差+1.9)。6月2日以降は低温・少照で、葉数の増加は少なかった。こしいぶきの草丈は28cmで目標比90%、葉数は26本/m ² で目標比90%、葉数は7.8葉で目標差+0.3葉、葉色(SPAD値)は42.2で目標差+2.0。新之助の草丈は27cmで目標比95%、葉数は140本/m ² で目標比81%、葉数は6.3葉で目標差-1.2葉、葉色(SPAD値)は33.3で目標差-4.7。(新潟県農業普及指導センター 6月8日付) (巻) 6月8日調査の結果、ワネ等により下葉に傷みが見られる場所が目立っている。6月第1半分の気温が低く推移したことから、生育量の伸びはやや鈍化し、コシヒカリとこしいぶきでは指標値並となった。そのために葉数はやや少ない状態となっている。(巻農業普及指導センター 6月8日付) (十日町) 田植時期の違いによる生育差が大きくなり、5月15日頃までに移植されたほ場は生育順調で、5月下旬以降に移植されたほ場は低温により分けつの発生が深い傾向。 (十日町農業普及指導センター・十日町地域農業振興協議会魚沼米振興部 6月8日付) (上 越) 6月8日現在、「コシヒカリ」の進んでいた生育は、6月に入り低湿が続いているためやや鈍化したが、依然として指標値に比べ、やや早い状況となっている。草丈は長く(指標値比112%)、葉数は多く(同比140%)、過剰生育に注意が必要。「こしいぶき」の生育は、指標値並となっている。 (上越農業普及指導センター 6月8日付) (佐 渡) 6月8日現在、コシヒカリ(拠点ほ場8か所の平均)の生育状況は、草丈は28cm、葉数は241本/m ² 、葉数は7.2葉で各々目標値並、葉色(SPAD値)は34.2でやや濃い。(佐渡農業普及指導センター 6月8日付) (三 条) 6月8日現在の調査結果(管内コシヒカリ35か所、こしいぶき9か所平均)は、コシヒカリの草丈は30cmで指標比102%、葉数は233本/m ² で指標比100%、葉数は7.0葉で指標差+0.4葉、葉色は36.1で指標差-1.9。こしいぶきの草丈は27cmで指標比96%、葉数は235本/m ² で指標比83%、葉数は6.9葉で指標差-0.2葉、葉色は38.9で指標差-1.1。低温・少照により、生育は鈍化し指標値並となった。(三条農業普及指導センター 6月8日付) (岩 船) 6月8日現在、草丈は並、葉数は少ない、葉数はやや濃い、葉色は濃い。6月上旬の低温・少照で生育停滞傾向。田植時期が遅いほ場や強風の影響が大きかった一部地域では、更に生育が遅れ気味。 (村上農業普及指導センター 6月8日現在) (長 岡) 6月8日現在のコシヒカリ(定点調査ほ7か所平均)は、草丈は29cm(指標値比96%)とほぼ指標値並、葉数は183本/m ² (同比90%)と少ない、葉数は6.4葉(同差-0.1葉)と並、葉色(SPAD)は34.9(同差-2.8)と濃い。特に葉数は指標値90%と少ないが、平場コシヒカリのみの集計では218本/m ² (同比98%)となり、指標値並に生育している。 (長岡農業普及指導センター 6月8日付)	
富山	(生育) ・生育観測ほデータ(6月13日現在) (コシヒカリ) 平年に比べて、草丈は並、葉数はやや少なくなっている。葉齢は7.9葉(平年差-0.3葉)となり、生育は平年に比べ1日程度遅くなっている。葉数を揃えて比較すると、草丈、葉数とも平年並に推移している。 葉色は、平年よりやや遅く推移している。 平年に比べて、葉齢の展開がやや遅れており、草丈は並、葉数はやや少なくなっている。葉数を揃えて比較すると、草丈、葉数は平年並、葉色は遅く推移している。 (てんこもり) 平年に比べて、葉齢の展開がやや遅れており、草丈、葉数は並となっている。葉数を揃えて比較すると、草丈、葉数は平年並、葉色は遅く推移している。 (富山県農業技術 広域普及指導センター 6月13日付) ・直播栽培の生育状況(6月8日現在) 湛水上中直播栽培(カルバー)は、平年に比べて、草丈は並、葉数はかなり多く、葉齢は進んでいる。葉数を揃えて比較すると、葉数はやや多めに推移している。 湛水表面直播栽培(穀)は、近年に比べ、草丈は短く、葉数はやや少く、葉齢は近年並となっている。 (富山県農業技術 広域普及指導センター 6月8日付)	・北陸でイネいもち病(葉いもち)とイネミズゾウムシの発生が「多い」と予報 (農林水産省 6月14日付) ・6月の病害虫の発生量は、葉いもちは平年並、紋枯病は多い、アカヒゲホシムドリカスミカメはやや多い、アカシジカスミカメ、トゲシホシカスミカメは平年並、ニカメイガは発生時期が早く発生量は平年並(局部多い)、イネミズゾウムシは平年並、イネドコロイムシは少ない、ツマグロヨコバイはやや多いと予報 (富山県農林水産総合技術センター 5月31日公表)

	平年に対する遅速等	同左及び周辺事情に対する自治体等公表資料等（抜粋）
石川	<ul style="list-style-type: none"> ・ 草丈は、コシヒカリは平年比89～118%（県平均:100%、加賀:100%、能登:100%）、と平年及び前年並。ゆめみずほは、近年比97～113%（県平均:100%、加賀:99%、能登:107%）と加賀地域は近年並で前年よりやや短い、能登地域は近年よりやや長く前年並。 ・ 葉数は、コシヒカリは平年比79～142%（県平均:100%、加賀:98%、能登:104%）と平年及び前年並。ゆめみずほは、近年比65～149%（県平均:103%、加賀:100%、能登:120%）と近年及び前年並。ひやくまん穀は、平均175本/m²（株当たり県平均9.5本、加賀14.2本、能登5.0本）と移植の遅いのと地域では分けつが発生が少ない。 ・ 葉齢は、コシヒカリは平年比89～111%（県平均:99%、加賀:-0.1葉、能登:-0.1葉）、ゆめみずほは近年比92～111%（県平均:100%、加賀:-0.2葉、能登:-0.3葉）、ひやくまん穀は、県平均8.3葉（4.1～7.6葉）となっている。 ・ 葉齢展開は、コシヒカリは平年並で前年より1～2日程度遅い、ゆめみずほは近年並で、前年に比べ2日程度遅い。 ・ 葉色の発現は、コシヒカリは平年並～やや淡く、ゆめみずほは概ね平年並。 <p>（農林総合研究センター 6月8日調査）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6月下旬～7月中旬の病害虫の発生量は、葉いもちは平年並、紋枯病は平年並、斑点米カメムシ類は多、セジロウカとコブメイガは平年並、フタオビコヤガは平年並と予報（石川県農林総合技術センター 6月15日公表） ・ 北陸でイネいもち病（葉いもち）とイネミズゾウムシの発生が「多い」と予報（農林水産省 6月14日付）
福井	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6月8日調査の結果、移植コシヒカリは葉色が淡く、草丈はやや長く、葉数が少ない。連休中に播種したコシヒカリ直播は、葉色はやや淡いが、草丈、葉数ともに平年並。ハナエチゼンは平年並の葉色で草丈はやや長く、葉数は多い。 <p>（水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 6月9日付）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北陸でイネいもち病（葉いもち）とイネミズゾウムシの発生が「多い」と予報（農林水産省 6月14日付） ・ 6月の病害虫の発生量は、葉いもちは平年より多い、紋枯病は平年並、ニカメイガは平年よりやや多い、イネミズゾウムシは平年より少ない、イネゾウムシは平年並、イネクビホソハムシは平年より少ない、イネヒメハモグリバエは平年並の予報（福井県農業試験場病害虫防除室 6月1日公表）
長野	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6月8日調査の結果、農業試験場水稲試験圃（須坂市八重森（標高348m））の移植後20日の生育は、「あきたこまち」「コシヒカリ」とも葉数、草丈、葉数は平年並である。（長野県農業試験場 6月11日） ・ 田植え後、高温傾向で推移している。活着は順調。（松本農業改良普及センター） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5月29日推定では、イネミズゾウムシの発生時期（越冬後成虫の半数出現推定時期）は、平年値のある長野、松本、諏訪、飯田の4観測地点では平年並の予測。上田では平年よりやや早い、木曾福島ではやや遅いと予測。その他の地点は、平成27年に比べて3～12日程度遅いと予測。（長野県病害虫防除所 5月31日公表） ・ 向こう1ヶ月間のニカメイチュウの発生量は平年並～やや少く、ツマグロヨコバイ、イネドロオイムシの発生量は平年並、イネミズゾウムシの発生量は平年並～やや少いと予報（長野県病害虫防除所 5月16日公表）
滋賀	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5月31日現在の「コシヒカリ」「秋の詩」の生育は状況は、移植後は気温が高く経過したことから、活着は良好であった。草丈は、両品種ともに平年並。葉数は、両品種ともに平年よりかなり多かった（平年の約1.3倍）。葉数は、「コシヒカリ」が0.5枚、「秋の詩」が平年より0.7枚多かった。 ・ 県内の状況は、移植の早い頃では生育はやや旺盛となっているものも、全般には平年並となっている。 ・ 5月上旬移植の「みずかかみ」は中干し開始時期を迎えている。（滋賀県農業技術振興センター 6月6日付） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 葉いもち、ニカメイガ（I）、イネドロオイムシの発生量は平年並、コハネイナゴの発生量はやや少と予報（滋賀県病害虫防除所 6月6日公表）
兵庫	<ul style="list-style-type: none"> （育苗・田植） ・ 6月1日現在、県北は本田での生育はほぼ順調である。県南は苗の生育は順調である。（兵庫県農政環境部 6月1日付） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6月の葉いもち、ばか苗病の発生量は平年並、ヒメトビウカ（緑葉枯病）の発生量はやや多、セジロウカ、トビウカ類の発生量は平年並の予報（兵庫県病害虫防除所 5月30日公表）
岡山		<ul style="list-style-type: none"> ・ 6月の葉いもちの発生量は平年並、ヒメトビウカの発生量は少、ツマグロヨコバイの発生量は少、ニカメイガの発生量は平年並の予報（岡山県病害虫防除所 6月1日公表）
広島		
山口	<ul style="list-style-type: none"> （生育） ・ 5月上旬の移植では、葉数は昨年とほぼ同様の状況。5月下旬以降移植分の活着は良好。移植後の高温、根腐みでの葉の黄化などが一部にみられる。移植して深水が続いている（株元が黒くなっている）ところは、徒長気味の生育になっている。（JA長門大津、長門農林事務所農業部 6月12日付） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6月のイネ緑葉枯病（ヒメトビウカ媒介）の発生量は平年並の予報（山口県病害虫防除所 6月1日公表）
愛媛	<ul style="list-style-type: none"> （田植） ・ 6月は普通期水稲の田植え時である。高温発熱障害を回避するため極端な早植えは避けるよう指導。平地地における移植適期は、にこまるが6月中旬、ヒノカリが6月中下旬。（愛媛県農林水産研究所 6月8日付） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 四国でイネいもち病（葉いもち）とツマグロヨコバイの発生が「多い」と予報（農林水産省 6月14日付） ・ 6月の葉いもち、ウシコバエ類の発生量は平年並の予報（愛媛県 5月31日公表）
高知	<ul style="list-style-type: none"> （生育） ・ <早期水稲の生育状況（5月30日時点）> 生育進捗は4月5日植え南国そだちとコシヒカリではやや遅れ気味だが、4月14日植えコシヒカリでは平年並となった。全体的に葉数が多いが、問題なく生育している。 ・ 4月5日植えの南国そだちは、草丈は平年より高く、葉数は平年より多く、葉齢でみた生育進捗は平年よりやや遅くとなっている。 ・ 4月5日植えのコシヒカリは、草丈は平年より高く、葉数は平年より多く、葉齢でみた生育進捗は平年よりやや遅くとなっている。 ・ 4月14日植えのコシヒカリは、草丈は平年より高く、葉数は平年より多く、葉齢でみた生育進捗は平年並となっている。（高知県農業技術センター） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 四国でイネいもち病（葉いもち）とツマグロヨコバイの発生が「多い」と予報（農林水産省 6月14日付） ・ 6月の病害虫の発生量は、葉いもちは平年並、ツマグロヨコバイは県中央部と県西部で多く、県東部と県中西部ではやや少ない、セジロウカは平年並、ヒメトビウカはやや少の予報（高知県病害虫防除所 6月6日公表）
福岡	<ul style="list-style-type: none"> （育苗・田植） ・ 早期水稲の田植えは平年並で、5月15日までに終了。苗の活着や初期生育は良好。 ・ 普通期水稲は、5月15日現在、6月上旬の移植の育苗作業が行われ、生育は順調。出穂移行の高温を想定し、「夢つくし」の田植えは6月上旬、「セノヒカリ」は6月下旬を中心に行われる見込み。（福岡県農業総合試験場 平成29年5月15日現在（専技情報より抜粋）） 	
熊本		<ul style="list-style-type: none"> ・ 6月の早期・早植水稲の葉いもちの発生量は平年並の予報（熊本県病害虫防除所 5月31日公表）
宮崎		<ul style="list-style-type: none"> ・ 向こう1ヶ月間の早期水稲の葉いもちの発生量は平年並の予報（宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 5月19日公表）
鹿児島		<ul style="list-style-type: none"> ・ 6月1～5日に行った調査の結果、早期水稲地帯（県本土）では出穂期以降に斑点米カメムシ類の発生量がやや多いと予報（鹿児島県病害虫防除所 6月6日公表） ・ 6月の早期水稲の葉いもち病の発生量はやや少く、紋枯病の発生量は平年並の予報（鹿児島県病害虫防除所 5月29日公表）

注1：地方自治体及び出先機関等がホームページで公表している資料を採録機構情報で取り纏め。
注2：生産数量目標、収穫量、作況については、農林水産省の公表資料から抜粋。

道府県	備考 気象関連公表資料（気象台等公表資料の抜粋）	参考 生産数量目標					
		生産数量目標			自主的取組参考値（深堀）	収穫量（主食用） 28年度	作況指数 28年度
		平成29年度	前年度との比較	増減率			
		t	t	%			
全 国	<p>・6月17日～7月16日の1か月間は、平均気温は、北日本では平年並か高く、東日本ではほぼ平年並、西日本では平年並か低い見込み。降水量は、北・東日本では平年並か少ない見込み。西日本では、ほぼ平年並の見込み。</p> <p>日照時間は、北・東日本日本海側では平年並か多く、北・東日本太平洋側と西日本ではほぼ平年並の見込み。（気象庁 6月15日発表）</p> <p>（6～8月の3か月間の見直し）</p> <p>・6月は、北日本と東日本日本海側では、期間の前半は、天気は数日の周期で変わり、期間の後半は、平年と同様に曇りや雨の日が多い見込み。東日本太平洋側、西日本、沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多い見込み。</p> <p>・7月は、北日本と東日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨の日が多い見込み。東日本太平洋側と西日本では、期間の前半は、平年と同様に曇りや雨の日が多く、期間の後半は、平年と同様に晴れの日が多い見込み。沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多い見込み。</p> <p>・8月は、北日本では、天気は数日の周期で変わり、東・西日本と沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多い見込み。（気象庁 6月24日発表）</p>	7,350,000	▲ 80,000	▲ 1.1	7,330,000	7,496,000	103
北 海 道	<p>・北海道地方の6月17日～7月16日の1か月間は、平均気温は、日本海側とオホーツク海側では、平年並か高く、降水量は平年並か少ない見込み。日照時間は平年並か多い見込み。</p> <p>太平洋側では、平均気温と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。（札幌管区気象台 6月15日発表）</p>	535,669	▲ 5,831	▲ 1.1	534,212	545,500	102
青 森	<p>・東北地方の6月17日～7月16日の1か月間は、平均気温はほぼ平年並、降水量は平年並か少なく、日照時間は平年並か多い見込み。</p> <p>（仙台管区気象台 6月15日発表）</p>	237,294	▲ 2,583	▲ 1.1	236,649	222,300	104
岩 手	同上（仙台管区気象台 6月15日発表）	265,432	▲ 2,889	▲ 1.1	264,710	254,300	102
宮 城	同上（仙台管区気象台 6月15日発表）	341,193	▲ 3,713	▲ 1.1	340,264	352,300	105
秋 田	同上（仙台管区気象台 6月15日発表）	408,644	▲ 4,448	▲ 1.1	407,532	409,600	104
山 形	同上（仙台管区気象台 6月15日発表）	337,160	▲ 3,670	▲ 1.1	336,243	345,300	103
福 島	同上（仙台管区気象台 6月15日発表）	332,316	▲ 3,617	▲ 1.1	331,412	333,600	102
茨 城	<p>・関東甲信地方の6月17日～7月16日の1か月間の気温は、期間のはじめは低く、後半は平年並か高く、1か月の平均気温はほぼ平年並の見込み。降水量は平年並か少ない見込み。</p> <p>日照時間は、ほぼ平年並の見込み。（気象庁 6月15日発表）</p> <p>・関東甲信地方は6月7日ごろに梅雨入りしたと見られる。（気象庁 6月7日発表）</p>	330,182	▲ 3,594	▲ 1.1	329,284	350,100	99
栃 木	同上（気象庁 6月15日発表、6月7日発表）	292,326	▲ 3,182	▲ 1.1	291,531	295,300	102
埼 玉	同上（気象庁 6月15日発表、6月7日発表）	148,047	▲ 1,612	▲ 1.1	147,644	154,100	101
千 葉	同上（気象庁 6月15日発表、6月7日発表）	241,239	▲ 2,625	▲ 1.1	240,582	295,900	102
新 潟	<p>・北陸地方の6月17日～7月16日の1か月間は、期間の前半は、平年に比べ曇りや雨の日が少ない見込み。向こう1か月の平均気温はほぼ平年並、降水量は平年並か少なく、日照時間は平年並か多い見込み。</p> <p>（新潟地方気象台 6月15日発表）</p>	510,184	▲ 5,553	▲ 1.1	508,796	589,700	108
富 山	同上（新潟地方気象台 6月15日発表）	181,695	▲ 1,977	▲ 1.1	181,200	191,300	106
石 川	同上（新潟地方気象台 6月15日発表）	120,996	▲ 1,317	▲ 1.1	120,667	123,900	104
福 井	同上（新潟地方気象台 6月15日発表）	122,787	▲ 1,337	▲ 1.1	122,453	126,300	104
長 野	<p>・関東甲信地方の6月17日～7月16日の1か月間の気温は、期間のはじめは低く、後半は平年並か高く、1か月の平均気温はほぼ平年並の見込み。降水量は平年並か少ない見込み。</p> <p>日照時間は、ほぼ平年並の見込み。（気象庁 6月15日発表）</p> <p>・関東甲信地方は6月7日ごろに梅雨入りしたと見られる。（気象庁 6月7日発表）</p>	189,867	▲ 2,066	▲ 1.1	189,350	197,800	101

気象関連公表資料（気象台等公表資料の抜粋）		t	t	%	t	t	t
滋 賀	<p>・近畿地方の6月17日～7月16日の1か月間は、期間のはじめは気温が低く、向こう1か月の平均気温は平年並か低い見込み。降水量は期間のはじめは少ない状態が続く。向こう1か月はほぼ平年並の見込み。日照時間はほぼ平年並の見込み。 （大阪管区気象台 6月15日発表）</p> <p>・近畿地方は、6月7日ごろに梅雨入りしたとみられる。（大阪管区気象台 6月7日発表）</p>	157,032	▲ 1,709	▲ 1.1	156,604	161,300	104
兵 庫	同上（大阪管区気象台 6月15日発表、6月7日発表）	176,596	▲ 1,922	▲ 1.1	176,115	177,400	100
岡 山	<p>・中国地方の6月17日～7月16日の1か月間は、1週目の気温は低く、2週目は平年並か低く、向こう1か月を平均した気温は、平年並か低い見込み。降水量と日照時間はほぼ平年並の見込み。 （広島地方気象台 6月15日発表）</p> <p>・中国地方は6月7日ごろに梅雨入りしたとみられる。（広島地方気象台 6月7日発表）</p>	155,172	▲ 1,689	▲ 1.1	154,750	155,600	101
広 島	同上（広島地方気象台 6月15日発表、6月7日発表）	127,201	▲ 1,384	▲ 1.1	126,855	124,300	102
山 口	<p>・九州北部地方（山口県含む）の6月17日～7月17日の1か月間は、平均気温は平年並か低く、降水量と日照時間はほぼ平年並の見込み。 （福岡管区気象台 6月15日発表）</p> <p>・九州北部地方（山口県を含む）は、6月6日ごろに梅雨入りしたと見られる。（福岡管区気象台 6月6日発表）</p>	106,443	▲ 1,158	▲ 1.1	106,153	101,400	102
愛 媛	<p>・四国地方の6月17日～7月16日の1か月間は、期間のはじめを中心に気温の低い時期があり、向こう1か月の気温も平年並か低い見込み。降水量は、期間のはじめは少ない状態が続くが、向こう1か月の降水量はほぼ平年並の見込み。日照時間はほぼ平年並の見込み。 （高松地方気象台 6月15日発表）</p> <p>・四国地方は6月7日ごろに梅雨入りしたとみられる。（高松地方気象台 6月7日発表）</p>	72,345	▲ 788	▲ 1.1	72,148	72,100	102
高 知	同上（高松地方気象台 6月15日発表、6月7日発表）	49,003	▲ 534	▲ 1.1	48,870	53,100	100
福 岡	<p>・九州北部地方（山口県含む）の6月17日～7月17日の1か月間は、平均気温は平年並か低く、降水量と日照時間はほぼ平年並の見込み。 （福岡管区気象台 6月15日発表）</p> <p>・九州北部地方（山口県を含む）は、6月6日ごろに梅雨入りしたと見られる。（福岡管区気象台 6月6日発表）</p>	178,582	▲ 1,944	▲ 1.1	178,097	177,400	100
熊 本	同上（福岡管区気象台 6月15日発表、6月6日発表）	185,277	▲ 2,016	▲ 1.1	184,773	171,300	102
宮 崎	<p>・九州南部地方の6月17日～7月16日の1か月間は、期間のはじめは気温がかなり低くなる可能性があり、向こう1か月の平均気温は低い見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 （鹿児島地方気象台 6月15日発表）</p> <p>・九州南部は6月6日ごろに梅雨入りしたと見られる。（鹿児島地方気象台 6月6日発表）</p>	91,606	▲ 997	▲ 1.1	91,357	77,200	100
鹿 児 島	同上（鹿児島地方気象台 6月15日発表、6月6日発表）	108,704	▲ 1,183	▲ 1.1	108,408	97,600	100

出所(原資料):

平成29年度産米の都道府県別の生産数量目標について(農林水産省)
平成28年度産水陸稲の収穫量(農林水産省)
平成29年度病害虫発生予報第3号(農林水産省)

農作物の生育状況 6月1日現在(北海道 6月6日)、農作物生育状況 6月1日現在(北海道空知総合振興局 6月6日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道石狩振興局 6月6日)、農作物の生育状況 6月1日現在(北海道後志総合振興局 6月6日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道胆振総合振興局 6月6日)、農作物の生育状況 6月1日現在(北海道日高振興局 6月6日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道渡島総合振興局 6月6日)、農作物の生育状況 6月1日現在(北海道檜山振興局 6月6日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道上川総合振興局 6月6日)、農作物生育状況調査の概要 6月1日現在(北海道留萌振興局 6月6日)、
農作物の生育と農作業の進捗状況 6月1日現在(北海道オホーツク総合振興局 6月6日)、
平成29年度病害虫発生予察情報第3号6月予報(北海道病害虫防除所 5月31日)、
H29水稲作況(6月10日現在)作況調査報告(青森県産業技術センター農林総合研究所 6月12日)、
6月5日現在田植進捗状況(青森県 6月6日)、平成29年度病害虫発生予報第3号(6月予報)(青森県病害虫防除所 5月31日)、
平成29年度水稲生育定期調査結果No.1(6月5日現在)(岩手県農業研究センター 6月7日)、
平成29年度農作物病害虫発生予察情報発生予報第3号(6月予報)(岩手県病害虫防除所 5月31日)、
農作物技術情報第3号水稲(岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部 5月25日)、
田植への進捗状況(5月19日現在概況速報)について(岩手県中央農業改良普及センター県域普及グループ 5月19日)、
平成29年度産水稲の生育状況について(6月9日現在)(宮城県農林水産部 6月12日)、
仙台稲作情報第2号(宮城県仙台農業改良普及センター 6月14日)、平成29年度産大崎稲作情報第2-2号(宮城県大崎農業改良普及センター 6月13日)、
平成29年度 美里地区の稲作情報第2号(宮城県美里農業改良普及センター 6月12日)、栗原の稲作通信平成29年第2号(栗原農業改良普及センター 6月12日)、
登米地域の稲作通信第3号(宮城県米づくり推進登米地方本部登米農業改良普及センター 6月13日)、
平成29年度気仙沼・南三陸稲作情報第3号(宮城県本吉農業改良普及センター 6月13日)、
平成29年度発生予察情報発生予報第4号-水稲(宮城県病害虫防除所 6月8日)、
生育状況の情報(秋田県ホームページ)こまちチャンネル<http://www.e-komachi.jp/> 6月9日)、
平成29年度農作物病害虫発生予察情報発生予報第2号(6月予報)(秋田県病害虫防除所 5月26日)、
米づくり技術情報NO.3(オールやまがた米づくり日本一運動本部 6月9日)、
おいしい米づくり情報第6号中干し準備編(村山総合支庁産業経済部農業技術普及課 6月14日)、
つや姫通信第2号中干し準備編(村山総合支庁農業技術普及課 6月14日)、
酒田・飽海日本一米づくり情報第5号(庄内総合支庁酒田農業技術普及課 6月13日)、
おいしい米づくり情報第6号(庄内総合支庁農業技術普及課 6月12日)、
おきたま米づくり情報No.4(オールやまがた米づくり日本一運動置賜地域本部実践班 6月9日)
稲作だより第5号本田初期編(最上総合支庁農業技術普及課 5月23日)、
平成29年度農作物有害動物発生予察情報発生予報第3号(6月)(山形県病害虫防除所 5月31日)、
主要な農作物の生育情報平成29年度第2号(福島県農林水産部 5月12日)、平成29年度病害虫発生予察情報発生予報第2号(5月)(福島県病害虫防除所 5月26日)、
農研速報 水稲の生育状況(6月9日現在、水戸市)(茨城県農業総合センター 6月12日)、
農研速報 水稲の生育状況(6月8日現在、龍ヶ崎市)(茨城県農業総合センター 6月12日)、
病害虫発生予察注意報第1号(茨城県病害虫防除所 6月12日)、病害虫発生予報6月号(茨城県病害虫防除所 5月31日)、
平成29年度水稲生育診断予測事業速報No.2(早稲栽培6月8日調査結果)(栃木県 6月12日)、平成29年度病害虫発生予報第2号(栃木県農業環境指導センター 5月19日)、
平成29年度病害虫発生予察注意報第1号(栃木県農業環境指導センター 5月31日)、
平成29年度水稲の生育概況vol.1(埼玉県農業技術研究センター 6月7日)、平成29年度病害虫発生予報第2号(6月予報)(埼玉県病害虫防除所 5月29日)、
水稲の生育状況と当面の対策第2報(千葉県農林水産部 6月5日)、平成29年度病害虫発生予報第3号(千葉県農林総合研究センター 6月14日)、
水稲の生育状況と今後の管理対策(第2号)(新潟県農林水産部 6月9日)、
新発田地域水稲生育速報No.2(新発田農業普及指導センター 6月8日)、稲作速報No.2(新潟農業普及指導センター 6月8日)、
水稲生育速報(巻農業普及指導センター 6月8日)、コシヒカリ生育情報(魚沼農業普及指導センター 6月9日)、
6/8稲作生育速報(十日町地域)(十日町農業普及指導センター 6月8日)、
柏崎地域新之助栽培情報No.2(柏崎農業普及指導センター 6月9日)、稲作管理情報No.2(柏崎農業普及指導センター 6月9日)、
平成29年上越地域米コシヒカリこしいぶき 生育速報(6月8日)(上越農業普及指導センター 6月8日)、
平成29年度糸魚川売れる米づくりコシヒカリ生育情報No.2(糸魚川地域農林振興部 平成29年6月9日)、
平成29年度稲作生育速報No.2(佐渡農業普及指導センター 6月8日)、FAX稲作情報No.5(三条農業普及指導センター 6月8日)、
H29岩船米生育速報(6月8日現在)(村上農業普及指導センター 6月8日)、水稲生育速報(長岡農業普及指導センター 6月8日)、
平成29年度新潟県病害虫発生予察情報・予報第3号(6月の発生予想)(新潟県病害虫防除所 5月31日)、
TACS情報第3号(富山県農業技術課 広域普及指導センター 6月13日)、直播情報(第2号)(富山県農業技術課 広域普及指導センター 6月8日)、
病害虫発生予報第3号(富山県農林水産総合技術センター 5月31日)、
平成29年度産水稲の生育状況と今後の対策(水稲生育診断技術確立調査-3号)(石川県農林総合研究センター 6月9日)、
病害虫発生予報第3号(石川県農林総合研究センター 6月15日)、平成29年度農作物病害虫発生予報第4号(福井県農業試験場 6月1日)、
稲作情報No.6(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 6月9日)、
水稲の生育状況(平成29年度)(長野県農業試験場 6月11日)、
平成29年作物技術普及情報第7号(松本農業改良普及センター)、
イネミズウムシ越冬後成虫の発生時期の予測(平成29年)(長野県病害虫防除所 5月31日)、病害虫発生予報第2号(長野県病害虫防除所 5月16日)、
平成29年度水稲生育診断情報No.1(滋賀県農業技術振興センター 6月6日)、平成29年度病害虫発生予報第4号(滋賀県病害虫防除所 6月6日)、
平成29年度兵庫県農業気象技術情報第2号(6月情報)について(兵庫県農業環境部 6月1日)、平成29年度病害虫発生予報第2号(兵庫県病害虫防除所 5月30日)、
平成29年度病害虫発生予報第3号(岡山県病害虫防除所 6月1日)、
稲作ワンポイントアドバイス(No.1)(JA長門大津、長門農林事務所農業部 6月12日)、農作物病害虫発生予報6月(山口県病害虫防除所 6月1日)、
気象情報に基づく技術対策・作物(愛媛県農林水産研究所 6月8日)、病害虫発生予報(6月)(愛媛県 5月31日)、
平成29年度における早期水稲の生育状況(5月30日時点)(高知県農業技術センター 6月12日)、
平成29年度病害虫発生予報第3号(6月)(高知県病害虫防除所 6月6日)、
福岡県の主な農作物の生産状況(専技情報より抜粋)(福岡県農林業総合試験場 5月15日)、平成29年度病害虫発生予報第3号(6月予報)(熊本県病害虫防除所 5月31日)、
平成29年度病害虫発生予報第2号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 5月19日)、
平成29年度技術情報第3号(鹿児島県病害虫防除所 6月6日)、平成29年度病害虫発生予報3号(鹿児島県病害虫防除所 5月29日)、

北海道地方こう1か月の天候の見通し(札幌管区気象台)、東北地方こう1か月の天候の見通し(仙台管区気象台)、関東甲信地方こう1か月の天候の見通し(気象庁)、
北陸地方こう1か月の天候の見通し(新潟地方気象台)、近畿地方こう1か月の天候の見通し(大阪管区気象台)、中国地方こう1か月の天候の見通し(広島地方気象台)、
四国地方こう1か月の天候の見通し(高松地方気象台)、九州北部地方こう1か月の天候の見通し(福岡管区気象台)、九州南部・奄美地方こう1か月の天候の見通し(鹿児島地方気象台)
全国向こう3か月の天候の見通し・全国向こう1か月の天候の見通し(気象庁)、
梅雨の時期に関する関東甲信地方気象情報1号(気象庁)
梅雨の時期に関する近畿地方気象情報1号(気象庁)
梅雨の時期に関する中国地方気象情報1号(気象庁)
梅雨の時期に関する四国地方気象情報1号(気象庁)
梅雨の時期に関する九州北部(山口県含む)気象情報1号(気象庁)
梅雨の時期に関する九州南部・奄美地方気象情報2号(気象庁)